

第66回 福山市美術展 表彰式・講評会

■ 6月30日(日)15時よりふくやま美術館に於いて第66回福山市美術展覧会表彰式が行われた。



優秀賞の佐藤光邦さん



書奨賞の槇岡紫風さん

※書奨賞・・・ふくやま書道美術館奨励賞



奨励賞代表の渡辺玉祥さん



努力賞代表の佐藤千代さん



受賞者のみなさ



全体風景

■ 作品講評会及び審査評

6月23日(日)16時10分より同美術館に於いて児玉恒風代表委員による作品講評が、大勢の参加者の前で行われ紙面に対しての空間等々作品制作のポイントについて説明があった。その後、受賞者の方々のコメントがあった。



書の多彩な表現やその在り様を求める前衛部門は、バラエティに富んだ作品が多く、見応えがありました。筆線の変化を求めた個性的な作品。独創的でユニークな構成や造形を追求した作品。また、余白の美しさを強調し、明るさを目指した作品など表現方法に新たな試みや工夫が見られ多彩でした。

特に練度の高い強靱な線は魅力的で鑑賞者を魅了します。日頃から表現技法を養い、幅広い書の鑑賞を通して感性を磨き、イメージやねらいを明確にし、用具用材にも工夫を凝らし、来年もより良い多くの力作を期待しています。

(福山市美術展覧会 児玉恒風代表委員審査評より)

受賞者集合写真

- 受賞者のみなさんと審査員の先生方

